

「新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する第5次アンケート」のまとめ

高知保険医協会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響に関する第5次となる会員アンケートを行いました。アンケートでは、一年前に比べれば患者数が回復してきているところが医科で38.2%、歯科で47.8%あるものの、一昨年の水準には届いていない事業所が医科、歯科ともに6割近くとなっています。新型コロナ感染症対策支援金の追加や様々な「コロナ特例」加算の拡充を求める声、そして、何よりも診療報酬の引き上げを求める声が多く寄せられています。

アンケート実施期間 2021年5月10日(土)~21日(金)

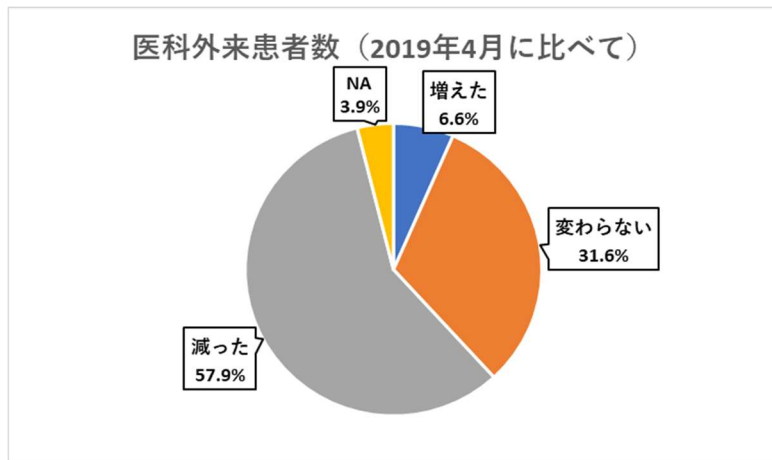
アンケート配布総数 全体452件 (医科276件、歯科176件)

回答数 全体100件 (回答率22.1%) 医科76件 (回答率27.5%) 歯科24件 (回答率13.6%)

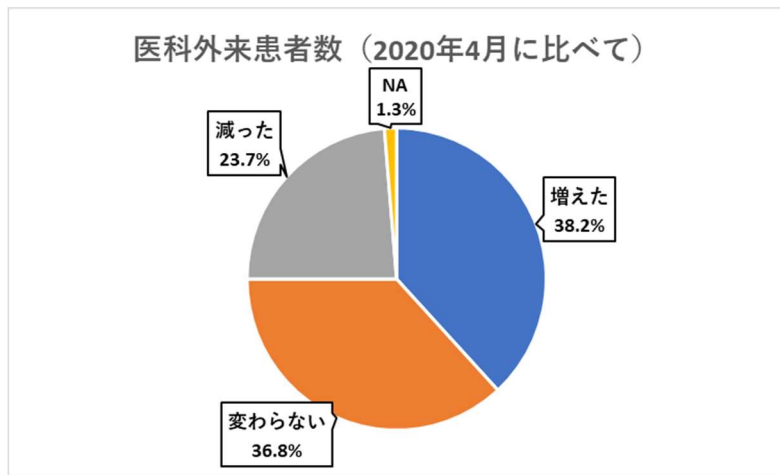
1、新型コロナ感染拡大の影響について

①2021年4月の外来の状況

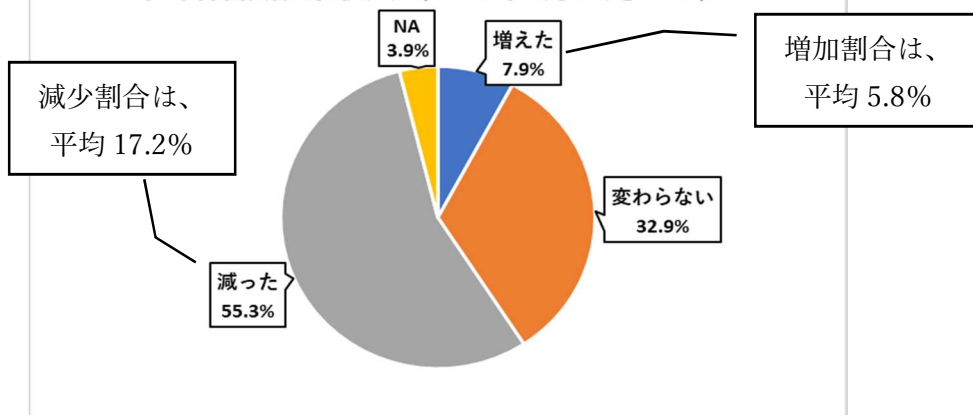
【医科】



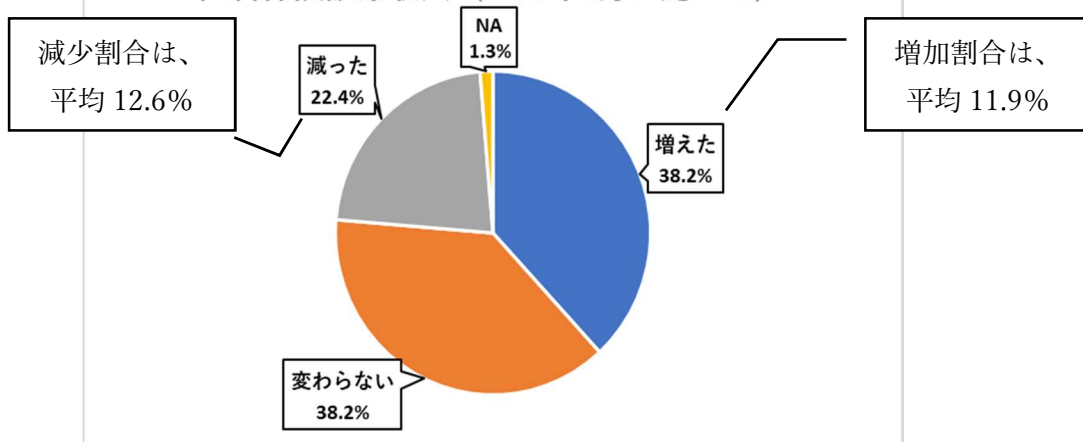
2020年4月に比べて増加し、2019年4月と同程度以上になったところは12件(15.8%)ですが、昨年に比べて増加したものの一昨年の水準にまで回復していないところが17件(22.4%)でした。



医科保険診療収入（2019年4月に比べて）

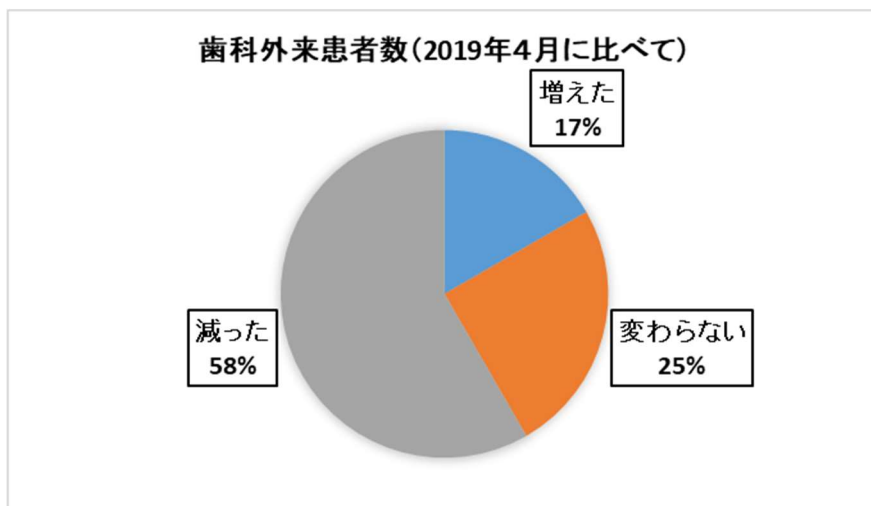


医科保険診療収入（2020年4月に比べて）

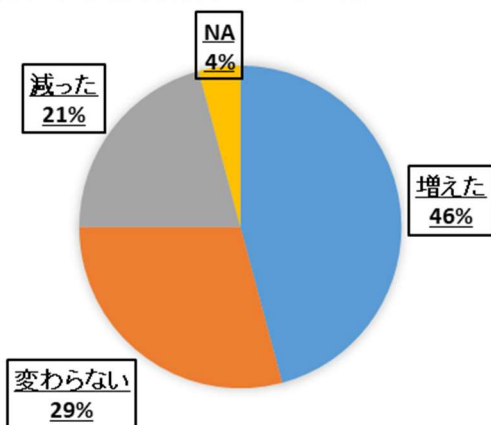


【歯科】

歯科外来患者数（2019年4月に比べて）

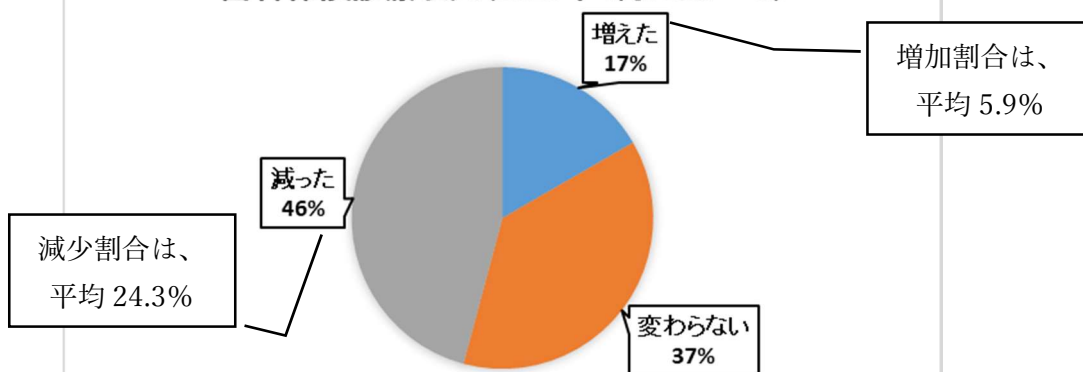


歯科外来患者数(2020年4月に比べて)

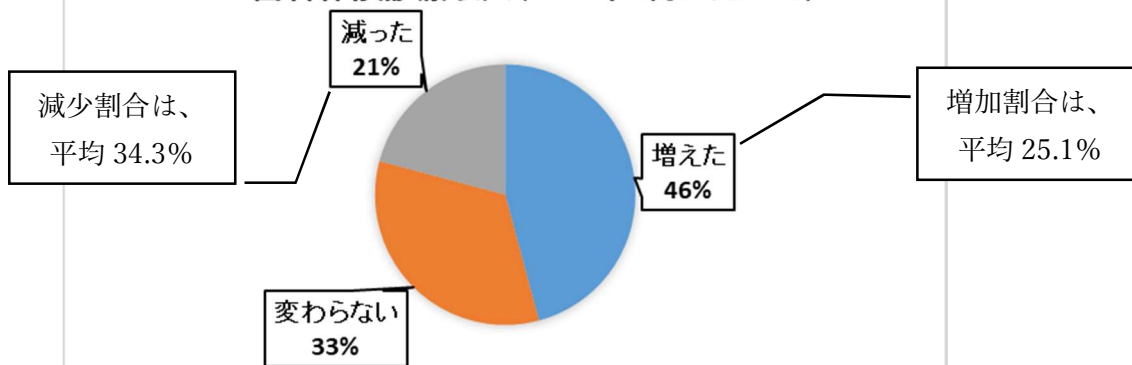


患者数が2020年4月に比べて増えたものの、2019年4月の水準にまで届いていない所は6件(25.0%)でした。

歯科保険診療収入(2019年4月に比べて)



歯科保険診療収入(2020年4月に比べて)



②2020年3月以降の職員数の変化

この1年での職員数は、医科、歯科ともに、多くのところで「変化なし」との回答が多かったが、「新型コロナ」感染拡大の影響による看護職員の減少の例が、医科で2例ありました。

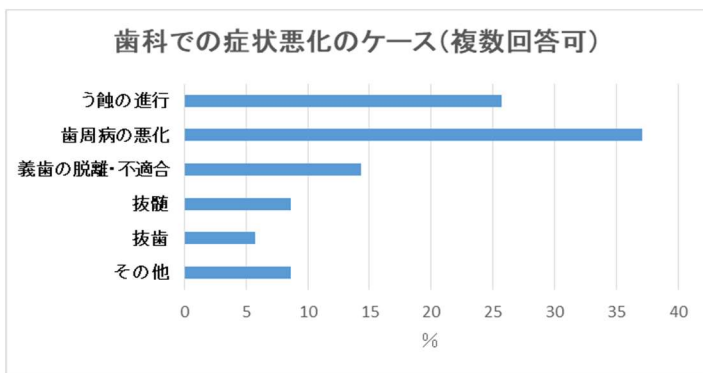
③新型コロナ感染拡大の影響での受診抑制で、症状が悪化しているケースについて

何らかの症状悪化のケースがあるとしているのは、医科で13.2%、歯科で70.8%となっています。

症状悪化の具体例（医科）

- ・糖尿病患者さんで服薬なし、血糖コントロール不良となる。
- ・外耳炎の悪化
- ・内服薬を停止し、血液検査データが悪化していた患者がいた。
- ・月1回骨粗鬆症の注射に来ていたが、コロナがこわくて来院せず、内服のみで対応している。

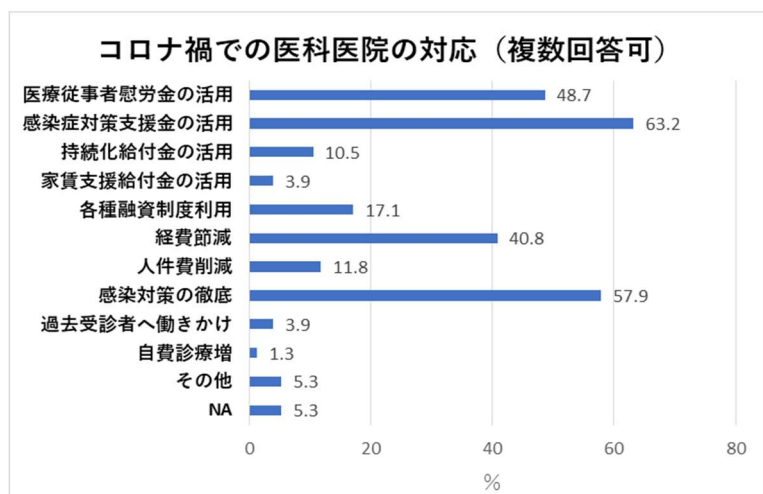
症状悪化の具体例（歯科）



2、コロナ禍での医院の対応と今後の経営の見通しについて

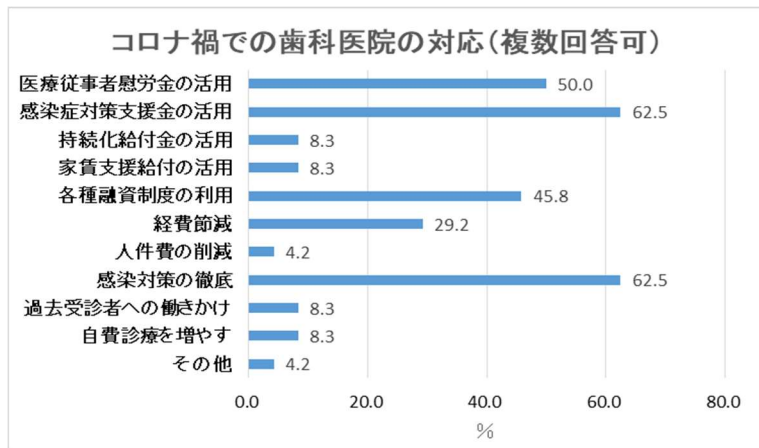
①医院としての対応

感染予防対策を徹底しながら、医療従事者への慰労金や感染症対策支援金を活用し、経費を節減して何とか維持をしているといった状況。持続化給付金や家賃支援給付金は、あまり対象となっていない様子です。



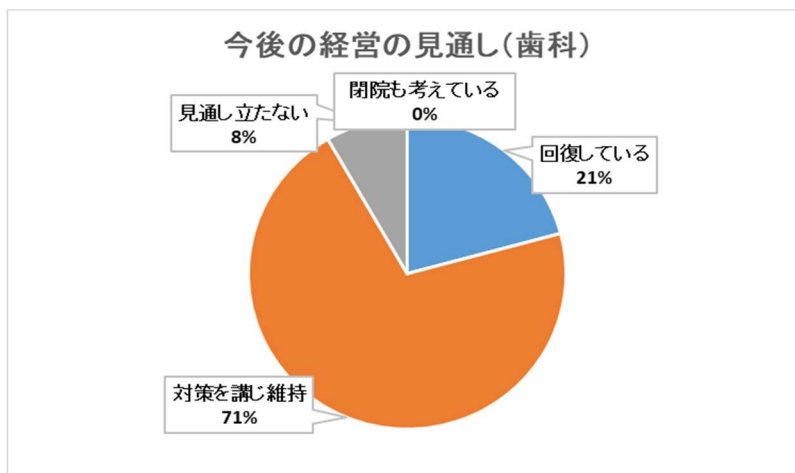
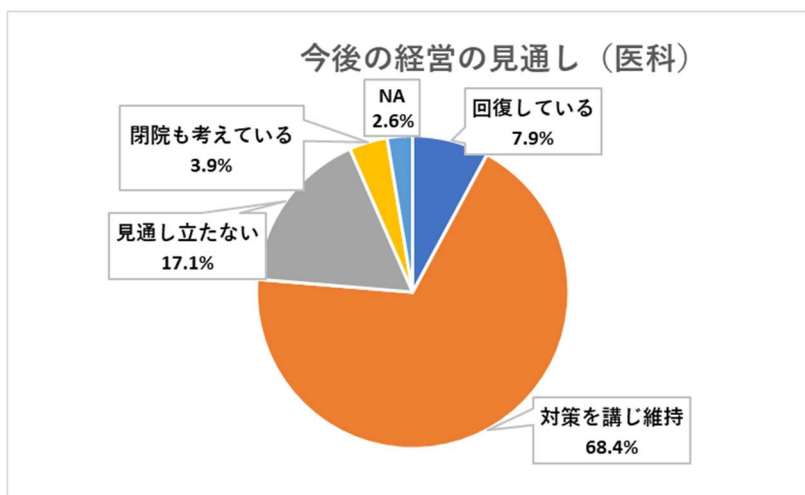
「その他」の回答

- ・ワクチン接種
- ・自治体独自の予防接種協力金



「その他」の回答
・歯科衛生士不足の解消

②今後の経営の見通し



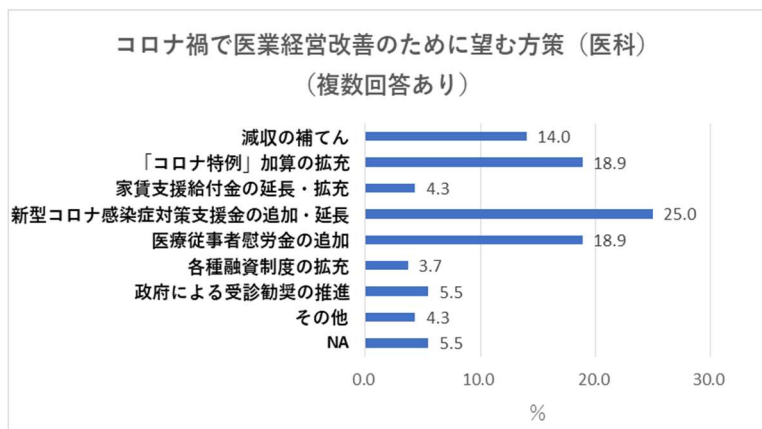
「見通し立たない」「閉院も考えている」のお答えをした理由については？

「見通しが立たない」とした理由について、医科では「患者が戻らないこと」を一番にあげており、次に「感染対策の経費増」をあげています。後継者がいなかったり、高齢となっている方が、この機会に閉院も考えている様子も見えます。

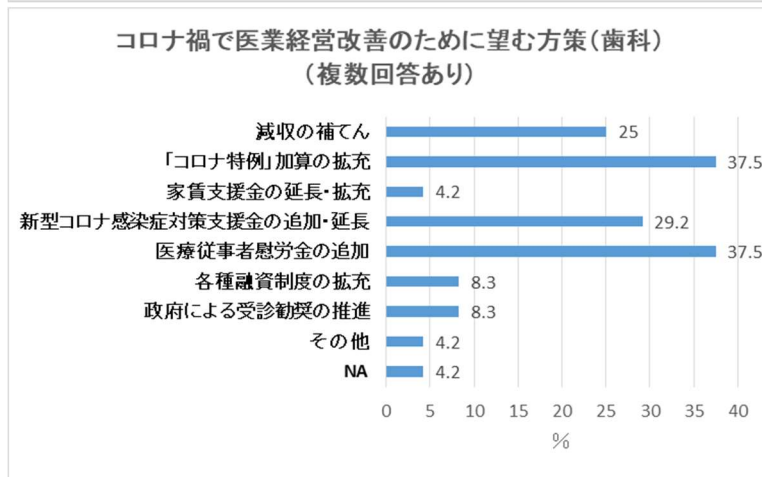
歯科では、「患者が戻ってこない」「感染症対策の経費増」「スタッフの補充が困難」「年齢的・体力的に厳しい」といった理由をあげています。「ワクチン接種の効果が疑問」という意見もありました。

3、医療経営を改善するために望む方策について

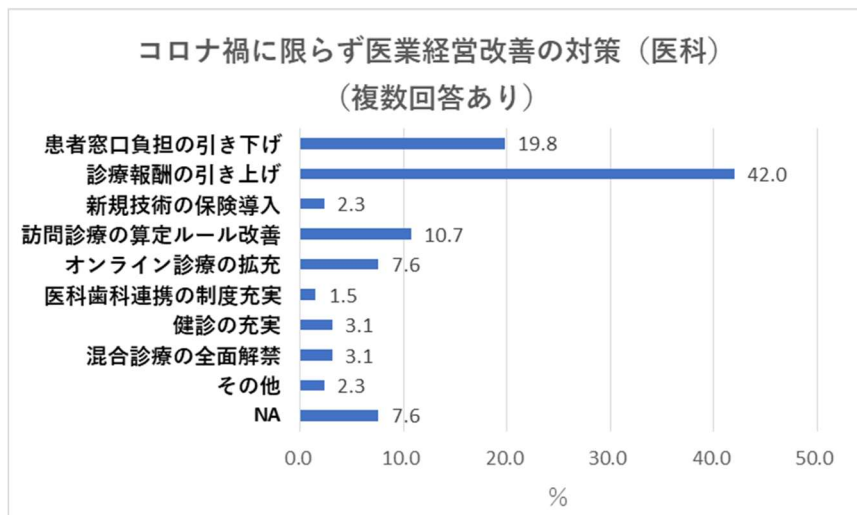
①コロナ禍の対応（複数回答あり）



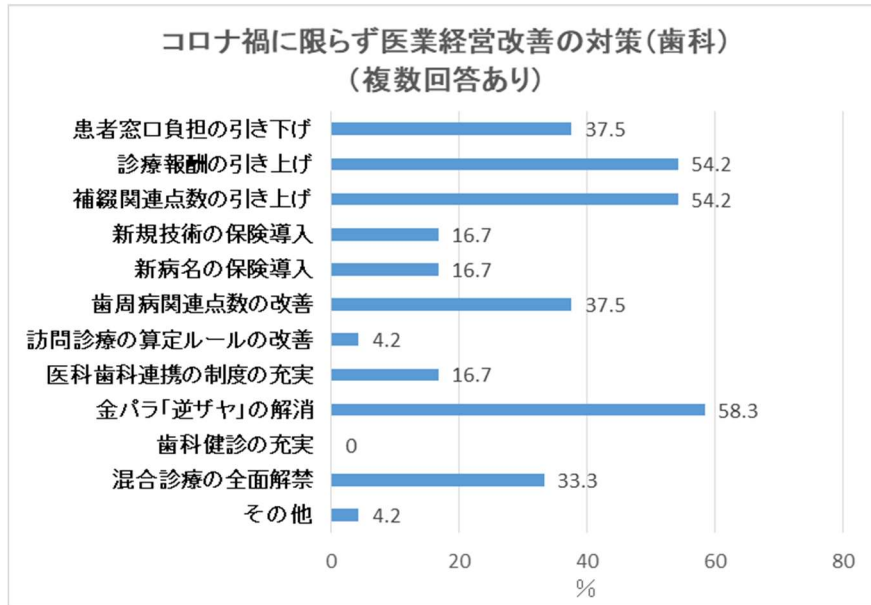
現在のコロナ禍において望まれる対策としては、「新型コロナウイルス感染症対策支援金の追加・延長」や「診療報酬に係るコロナに関しての特例的な加算の拡充」「医療従事者慰労金の追加」「減収分の補てん」等を求める声が多くなっています。



②コロナ禍だけでなく、今後の医療改善のための対策（複数回答あり）



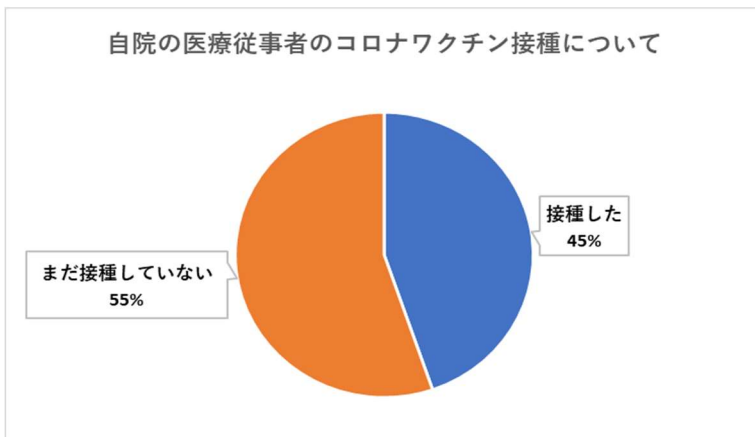
コロナ禍に限らない今後望まれる対策については、医科では、4割を越える方が診療報酬の引き上げが必要としており、2割近い方が患者窓口負担の引き下げが必要としています。



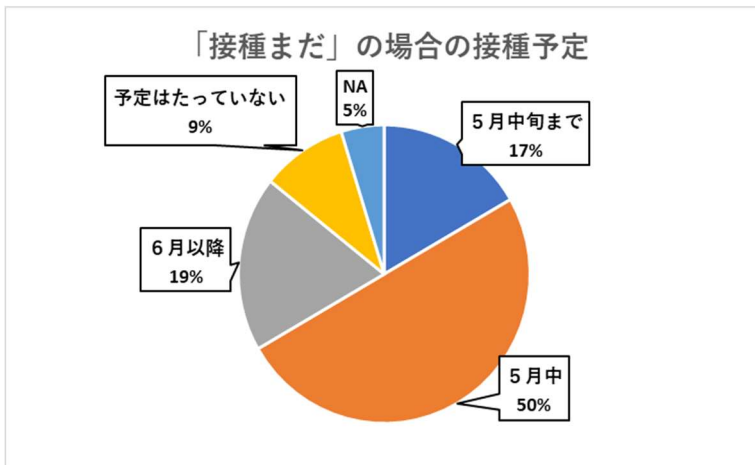
歯科では、診療報酬の引き上げを望む声も多いですが、金銀パラジウム合金の保険点数の仕入れ価格との「逆ザヤ」解消が一番多くなっています。

4、新型コロナウイルスワクチン接種について (医科のみ)

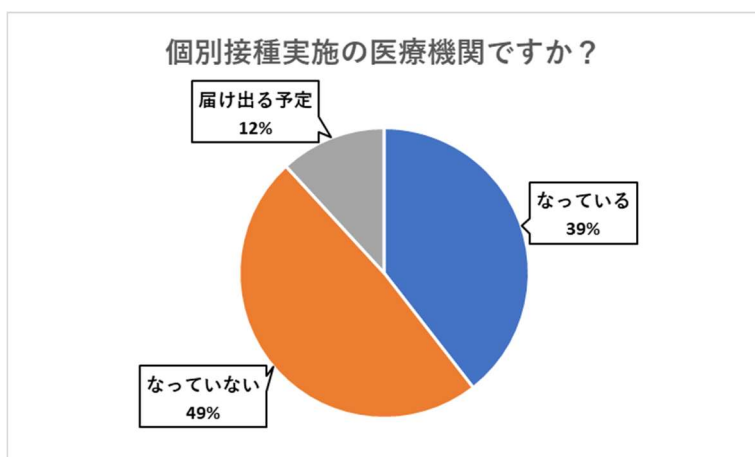
①接種対象となる医療従事者の接種は終了しましたか？



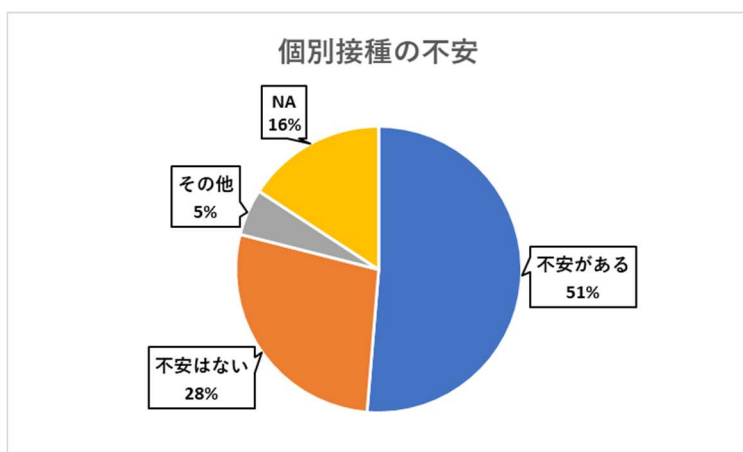
②上記で「まだ接種していない」場合の接種予定について



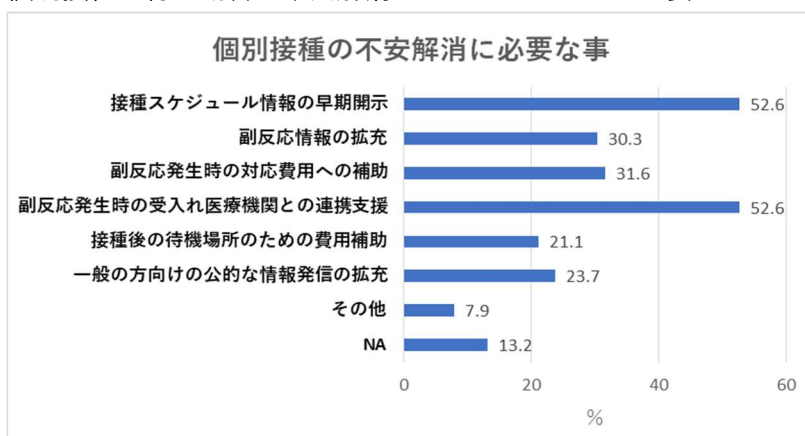
③貴院は、高齢者また一般の方の個別接種を行う医療機関となっていますか？



④個別接種を行う場合に、不安はありますか？



⑤個別接種を行う場合の不安解消にどのようなことが必要ですか？



半数以上の方が、接種スケジュール情報の早期の開示とともに、副反応（特にアナフィラキシーショック）が発生した時の受入れ医療機関との連携促進の支援を求めています。

当該アンケートについてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

高知保険医協会（担当事務局・浜田）

高知市河ノ瀬町4 1 - 1 - 4 F

TEL.088-832-5231

FAX.088-832-5229